

## 現場だより

現在進められている災害復旧工事について、その内容や進捗状況をお知らせします。

### ◆道路災害復旧工事（国道252号）大赤沢工区



#### 被災直後

国道252号：只見町大字石伏地内（平成23年8月12日撮影）



至 田子倉湖船着き場

擁壁工として補強土壁(テナー)工法を採用し工事完了(平成24年8月8日撮影)



至 只見町

完

了

現在

目次：

道路災害復旧工事 (国道252号大赤沢工区)	1
道路災害復旧工事 (国道352号)	2
河川災害復旧工事 (伊南川)	3
ズームアップ紹介 (黒谷川河川災害復旧助成工事)	4 ～8

#### ズームアップ紹介：黒谷川河川災害復旧助成工事

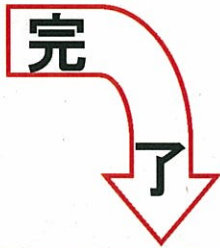
平成23年7月新潟・福島豪雨で大きな被害を受けた黒谷川の河川災害復旧助成工事が急ピッチで進められています。今回はその工事状況や現場での取り組みを紹介します。約6.6km区間を6工区に分割して、平成26年度の完了を目指しています。

◆道路災害復旧工事（国道352号）

現場だより



被災直後



現在

国道352号：南会津町内川地内  
（平成23年8月3日撮影）



国道352号：深瀬スノーシェッド近くの流沢橋  
付近が工事完了（平成24年8月31日撮影）

◆道路災害復旧工事（国道352号）



被災直後



現在

国道352号：南会津町大桃字入双六地内  
（平成23年7月31日撮影）



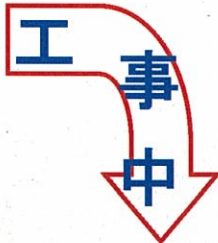
国道352号：蟹沢橋付近が工事完了  
（平成24年8月17日撮影）

# ◆河川災害復旧工事（伊南川）

現場だより



被災直後



現在



伊南川：南会津町内川地内  
(平成23年8月3日撮影)

護岸工施工中(進捗率約95%)  
(平成24年8月31日撮影)

## 復旧工事の進捗状況

(H24年8月末現在)

区分	工事名	災害箇所数	工事発注箇所数		工事完了箇所数
			発注済	未発注	
道路災害	災害復旧工事	46	40	6	12
橋梁災害	災害復旧工事	3	3	—	—
	災害関連工事	1	1	—	—
河川災害	災害復旧工事	48	38	10	6
	災害復旧助成工事	1	1	—	—
	災害関連工事	1	1	—	—
砂防災害	災害復旧工事	3	2	1	1
	災害関連緊急砂防工事	8	5	3	—
合計		111	91	20	19
進捗率			82.0%		17.1%

平成23年7月新潟・福島豪雨により被災した黒谷川は、河川災害復旧助成工事(平成23年度～26年度の4年間)により全体延長約6.6kmの改修を実施しております。主な工種は、自然石護岸工約6万㎡、床土工8基、取水堰2基、排水樋管5基であり、現在は改修区間を6工区に分割し、掘削・築堤・護岸工を実施しています。8月末の工事進捗率は各工区平均約40%です。その工事状況や現場での取り組みを紹介します。

## ●工事状況



### 被災直後



黒谷川：只見町大字黒谷地内(2工区)

### 現在



自然石護岸工施工中(平成24年8月8日撮影)

## ●自然石護岸工の試験施工

①黒谷川は従前から自然石がたくさんあり、おもむきのある河川であるため、周辺環境との調和を考慮し、自然石護岸工を採用しました。②自然石が約42万個必要ですが、現時点でその約7割が現地採取できる見込みであり、不足分は他の現場発生材を使用する等、当管内の自然石を極力使用するよう工夫しております。③自然石護岸工を施工するにあたり、各工区が同じ仕上がりになるよう、各工区の現場代理人や作業員による試験施工及び勉強会を行いました。なお、護岸法面や水際の植生を期待し、深目地としています。



試験施工(石張りの勉強会)＜自然石の直径は約40～60cmを採用＞(平成24年6月21日撮影)

## ●発生残土

約36万m<sup>3</sup>の大量の残土が発生するため、黒谷川沿川で流失した田の基盤材や窪地等に約20万m<sup>3</sup>、他の工事現場への流用や水防用資材として備蓄に約6万m<sup>3</sup>、残り10万m<sup>3</sup>については、当地区における深刻な骨材不足に対応するため、生コン用骨材の原石として地元の骨材生産プラントに供給しています。



現場発生材を骨材生産プラントへ  
(平成24年8月24日撮影)

## 【現場での取り組み】

### ■現場代理人大集合



現場をまとめる現場代理人さん6名。左から1工区:(株)館岩工務所 穴澤さん、2工区:山星建設(株) 小山さん、3工区:(株)渡部工務所 荒井さん、4工区:(株)南会西部建設Co 中丸さん、5工区:大富土建工業(株) 加瀬谷さん、6工区:(株)南会西部建設Co 五十嵐さん(平成24年8月7日撮影)

## ズームアップ紹介

## 黒谷川河川災害復旧助成工事

### ■朝7時から作業開始

残土搬出等の作業が、地元小学生の登校後、すみやかに始められるよう、朝7時から作業を開始しています。



4, 5, 6工区合同朝礼(平成24年8月21日撮影)



安全意識の高揚を図るための掲示(阿弥陀堂橋)

### ■黒谷川河川災害復旧助成工事安全推進協議会による活動

①毎月1回、発注者も含めて、安全パトロールを実施しています。②現場での安全徹底を図るため、講師を招いた安全大会を実施しました。③一般道を多くの工事関係車両が通行するため、大型ダンプへの番号付きステッカーの掲示や、地元小学生が書いた交通安全を祈願する短冊を運転手に配るなど、交通安全の徹底に努めています。④工事現場周辺の環境美化のため、ごみ拾い活動を実施しました。



①全工区を全員で点検し、現場事務所にて修正点の確認を実施。(平成24年6月15日撮影)



②『交通事故防止県民総ぐるみ運動』に伴う各工区の教育活動状況(左:平成24年7月17日、右:8月4日撮影)



③只見町の児童が復旧工事車両の交通安全を願い短冊を贈呈。(黒谷川万才橋にて:平成24年7月31日撮影)



④現場周辺の環境美化活動(平成24年7月17日撮影)

(平成24年7月6日撮影)

## ■福利厚生

全国から集まった職人さんの健康維持のため、現場内に食堂を設け、バランスの取れた食事を朝、昼、晩の一日三食、提供しています。



(昼食の一例)

〒967-0004 南会津郡南会津町田島字根小屋  
甲4277-1

電話 0241(62)5315

FAX 0241(62)5340

Email: minamiaizu.ken@pref.fukushima.lg.jp



### ■全国から石張工職人や大型建設機械が大集合

①現在、黒谷川では北海道から沖縄まで全国から集まった約130人の方々が働いています。②現場では、38t積載の重ダンプや3.5m<sup>3</sup>バケットのバックホウなど、合わせて70台のダンプや大型建設機械が活躍しています。

私たちが黒谷川の早期復旧に向け全力で取り組んでいます！

黒谷川河川災害復旧助成工事の現場関係者(平成24年8月7日撮影)



ご不明な点などがありましたら、お気軽にご連絡ください。よろしくお願いいたします。

福島県南会津建設事務所企画管理部企画調査課 Tel: 0241-62-5315